



ULIZA Player (HTML5)

プレゼンテーション機能ユーザーガイドv1.22.0

はじめに

本書では、ULIZA Player (HTML5)プレゼンテーション機能の利用方法を説明します。

用語集

PDF

Portable Document Formatの略称です。Adobe社が開発および提供する、電子上の文書に関するファイルフォーマットのファイルを指します。

資料

プレゼンテーション領域に表示するPDFを指します。

プレイヤー

本文書では、ULIZA Player (HTML5)を指します。

プレゼンテーション

ULIZA Player (HTML5)プレゼンテーション機能を指します。

プレゼンテーションオプション

プレゼンテーションを初期化する際のオプションです。

参考資料

- ULIZA Player (HTML5)ユーザーガイド
- ULIZA Player (HTML5) APIリファレンス

補足

本書内では、ULIZA Player (HTML5)ユーザーガイドは「ユーザーガイド」、ULIZA Player (HTML5) APIリファレンスは「APIリファレンス」と表記します。

機能

概要

プレゼンテーションは、プレイヤーの各チャプターに資料のページ番号を紐付けて表示する機能です。そのため、チャプターに紐づけていないページは、表示しません。プレゼンテーション領域のデザインは、CSSを変更することでカスタマイズできます。

サポートする資料のフォーマットは以下の通りです。

- PDF

プレイヤーのバージョン

v1.14.0以降にリリースされたプレイヤーで動作します。サポートするプレイヤーのバージョンは、直近3マイナーバージョンです。一例として、最新のバージョンがv1.16.0の場合は、v1.14.0からv1.16.0をサポート対象とします。

システム要件

サポートするOSのバージョンおよびブラウザのバージョンは、プレイヤーに準拠します。

プレイヤーの機能

サポートするプレイヤーの機能は、制限事項を除き、プレイヤーに準拠します。詳細は、「ユーザーガイド」を参照してください。

ユーザーインターフェース

プレゼンテーションの表示例は以下の通りです。



プレイヤー領域	プレイヤーを表示する領域です。
プレゼンテーション領域	資料およびツールバーを表示する領域です。
ツールバー	プレゼンテーション領域上部のコントローラーです。
資料	資料を表示する領域です。資料を拡大している場合、拡大する位置をスクロールで移動できます。



拡大ボタン	10%ずつ資料を拡大します。拡大率の最大値は1000%です。
拡大率	現在の資料の拡大率です。
縮小ボタン	10%ずつ資料を縮小します。拡大率の最小値は100%です。
ページ番号	現在のページ番号/全ページ数です。
次チャプターボタン	次のチャプターの先頭に移動します。
前チャプターボタン	現在のチャプターの先頭に移動します。ただし、現在のチャプターの先頭から2秒以内の場合は、前のチャプターの先頭に移動します。

資料の編集

プレゼンテーションの初期化後、APIで資料を変更できます。

制限事項

プレゼンテーションを使用する場合のプレイヤーの制限事項は以下の通りです。

- コンテンツタイプ
 - コンテンツタイプがLIVEまたはDVRの場合はプレゼンテーション領域を表示しません。
- 広告
 - 広告再生中は次チャプターボタンおよび前チャプターボタンを表示しません。
- 再生開始前
 - 再生開始前は次チャプターボタンおよび前チャプターボタンを表示しません。
- 画面ロック
 - 画面ロック中は次チャプターボタンおよび前チャプターボタンを表示しません。

実装方法

Webページへの組み込み

プレゼンテーションを使用するには、以下の手順を実行します。

1. プレゼンテーションのソースファイルを読み込みます。

head要素内でプレゼンテーションのソースファイルuliza-presentation.min.jsおよびuliza-presentation.cssを読み込みます。

2. プレゼンテーション領域を指定します。

プレゼンテーションは、Webページの任意のdiv要素の中に表示します。対象のdiv要素を特定する必要があるため、id属性を設定してください。

3. プレイヤーのインスタンスを生成します。

プレイヤーのvideo/audio要素のidおよび、プレイヤーオプションchapterを含むプレイヤーオプションを指定し、プレイヤーのインスタンスを生成します。プレイヤーオプションの説明は「APIリファレンス」を参照してください。

4. プレゼンテーションのインスタンスを生成します。

5. プレゼンテーションの初期化を行います。

プレイヤーのvideo/audio要素のidおよび、プレゼンテーションオプションの以下のパラメータをプレゼンテーションオプションに設定し、UlizaPresentationの初期化を行います。

- enable：プレゼンテーションの有効/無効
- documentUrl：資料の取得URL
- parentId：2. で設定したid

組み込み例は以下の通りです。

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <script src="./js/ulizahtml5.min.js"></script>
    <link href="./css/ulizahtml5.min.css" rel="stylesheet">
    <link href="./css/ulizahtml5-chapter.css" rel="stylesheet">
    <!-- 1. プレゼンテーションのソースファイルを読み込みます。 -->
    <script src="./js/uliza-presentation.min.js"></script>
    <link href="./css/uliza-presentation.css" rel="stylesheet">
  </head>
  <body>
    <video id="video1" class="ulizahtml5"></video>
    <div id="chapter-area" style="width: 400px; height: 400px;"></div>
    <!-- 2. プレゼンテーション領域を指定します。 -->
    <div id="presentation-area" style="width: 400px; height: 400px;"></div>
    <script>
      // 3. プレイヤーのインスタンスを生成します。
      ulizahtml5('video1', {
        width: 640,
        height: 360,
        sources: [{
          src: 'https://host/path/content.mp4',
          type: 'video/mp4'
        }],
        chapter: {
          enable: true,
          parentId: 'chapter-area',
          prevButtonVisible: true,
          nextButtonVisible: true,
        }
      });
    </script>
  </body>
</html>
```

html

```
    item: [
      {
        startTime: 0,
        title: 'プロローグ',
        thumbnailUrl: './thumbnail_1.png',
        data: { page: 1 }
      },
      {
        startTime: 20,
        title: '本編',
        thumbnailUrl: './thumbnail_2.png',
        data: { page: 2 }
      },
      {
        startTime: 130,
        title: 'エンドロール',
        thumbnailUrl: './thumbnail_3.png',
        data: { page: 3 }
      }
    ]
  }
});
// 4. プレゼンテーションのインスタンスを生成します。
var presentation = new UlizaPresentation();
// 5. プレゼンテーションの初期化を行います。
var presentationOptions = {
  enable: true,
  documentUrl: './presentation.pdf',
  parentId: 'presentation-area'
};
presentation.init('video1', presentationOptions);
</script>
</body>
</html>
```

API

プレゼンテーションオプション

プレゼンテーションオプションは以下の通りです。想定外の値が指定された場合は無視します。

enable: 真偽値	プレゼンテーションの有効／無効です。 true：有効にします。 false：無効にします。 デフォルト値：false
documentUrl: 文字列 (URL)	資料の取得URLです。プレゼンテーション領域に表示する資料の取得URLを指定します。本パラメータが無い場合、機能は無効です。
parentElementId: 文字列	プレゼンテーション領域のdiv要素のidです。本パラメータが無い場合、機能は無効です。

メソッド

UlizaPresentation (コンストラクタ)

プレゼンテーションのインスタンスを生成します。

【引数】

なし

【戻り値】

return: Object	プレゼンテーションのインスタンスです。
-----------------------	---------------------

init

プレゼンテーションの初期化を行います。

【引数】

playerId: 文字列	プレイヤーのvideo／audio要素のidです。必須です。
options: Object	プレゼンテーションオプションです。必須です。

【戻り値】

なし

getPresentation

プレゼンテーションオプションを取得します。

【引数】

なし

【戻り値】

return: Object	プレゼンテーションオプションです。
-----------------------	-------------------

setPresentation

プレゼンテーションオプションを設定します。

【引数】

options: Object	プレゼンテーションオプションです。必須です。
------------------------	------------------------

【戻り値】

--	--

return: 真偽値

実行結果です。

true : 設定に成功した。

false : 設定に失敗した。

デザインカスタマイズ

プレゼンテーションの構造は以下の通りです。

```
<div id="..."><!-- プレゼンテーション領域のdiv要素 -->
  <div class="uliza-presentation">
    <div class="toolbar">
      <div class="prev-chapter toolbar-button"></div>
      <div class="next-chapter toolbar-button"></div>
      <div class="page-number"></div>
      <div class="spacer"></div>
      <div class="shrink-page toolbar-button"></div>
      <div class="page-enlargement"></div>
      <div class="enlarge-page toolbar-button"></div>
    </div>
    <div class="document-area">
      <canvas class="document-layer"></canvas>
      <div class="annotation-layer"></div>
    </div>
  </div>
</div>
```

html

要素を表すclassは以下の通りです。

uliza-presentation	プレゼンテーション領域の中に表示するプレゼンテーションの実体です。
toolbar	ツールバーです。
toolbar-button	ツールバーのボタン類です。
prev-chapter	前チャプターボタンです。
next-chapter	次チャプターボタンです。
page-number	現在のページ番号です。
spacer	現在のページ番号と縮小ボタンのスペースです。
shrink-page	縮小ボタンです。
page-enlargement	現在の拡大率です。
enlarge-page	拡大ボタンです。
document-area	資料を表示する領域です。余白を含みます。
document-layer	資料を表示する領域です。
annotation-layer	資料のリンク用の領域です。

状態を表すclassは以下の通りです。

disabled	無効中のツールバーのボタンです。class「toolbar-button」と同じ要素に付きます。
fit	資料のサイズが資料を表示する領域のサイズと同じ状態です。class「document-area」と同じ要素に付きます。
has-started	プレイヤーが再生中の状態です。class「uliza-presentation」と同じ要素に付きます。
letter	資料の幅が資料を表示する領域の幅より大きい状態です。class「document-area」と同じ要素に付きます。
linearad-has-started	プレイヤーが広告再生中の状態です。class「uliza-presentation」と同じ要素に付きます。
lock	プレイヤーが画面ロックをしている状態です。class「uliza-presentation」と同じ要素に付きます。
hover	マウスカーソルがホバー中のツールバーのボタンです。class「toolbar-button」と同じ要素に付きます。

over	資料のサイズが資料を表示する領域のサイズより大きい状態です。class「document-area」と同じ要素に付きます。
pillar	資料の高さが資料を表示する領域の高さより大きい状態です。class「document-area」と同じ要素に付きます。

ユーザーインターフェースの表示例に示すプレゼンテーション領域のCSSはソースファイルuliza-presentation.cssをご確認ください。
カスタマイズする場合は十分な動作検証をしてください。

改版履歴

v1.22.0 | 2023/1/31

- 【ユーザーインターフェース】変更しました。

v1.20.0 | 2022/7/26

- 【ユーザーインターフェース】変更しました。

v1.18.0 | 2022/1/31

- 【ユーザーインターフェース】変更しました。

v1.17.0 2021/9/30

- バージョン体系を変更しました。

v1.0.1 2021/1/25

- 「2.2. プレイヤーのバージョン」を更新
- 「2.5. ユーザーインターフェース」を更新
- 「5. デザインカスタマイズ」を更新

v1.0.0 2020/9/17

- 初版